

**第29回東京都5年生サッカー大会**  
**J A 東京カップ**  
**東京都中央大会** **競技運営**

出場チーム各位

1. 2017年10月 7日(土) 1、2次トーナメント  
8日(日) 3次リーグ  
9日(祝) 決勝トーナメント

2. 試合開始時間と開会式

7日	第1試合	9:00
	開会式	12:10
8日	第1試合	10:00
9日	第1試合	10:00
	閉会式	15:50

3 競技方法 (1) トーナメント戦及びリーグ戦

(2) 競技時間はリーグ戦12分ハーフ

第1、第2ピリオド間は競技者総入れ替えに要する時間のみ。

第2、3ピリオド間は5分とコイントスの時間も含む。

第3ピリオドのサイドはコイントスで決定。6分程度が経過したところでサイドをチェンジする。

トーナメント戦で規定の競技時間内に勝敗が決定しない場合は出場中の競技者で

3人のPK方式で決定する。

(3) 8人制による競技とする。

(4) コートの広さは68m x 50mを基本とする。

(5) 審判は1人制を採用

(6) キックオフから直接相手ゴールに入った場合、相手にゴールキックが与えられる

4 競技規則 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会規則による。

但し、以下の項目については本大会規則を定めこれを優先する。

(1) 試合ごとに16名の登録でチームを構成する。

(2) 自由な交代制とする 「交代ゾーン」を用いる自由交代とする

(3) ゴールキーパーの交代はボールアウトオブプレー中、主審に通知する。

(4) 試合途中、怪我などの理由で7人以下になった場合直に競技者を補充する、次の試合開始時に8人いなければ参考試合とする  
常にピッチに8人の競技者がいなければならない。

(5) 本大会において、退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できない。  
警告回数が2回に達した場合も同処置とする。

(それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する)

(6) 退場がでたピリオドは直ぐに競技者を補充する常に8人で試合を続ける。

(7) リーグ戦の順位はハンドブック依る

但し参考試合が出た場合は、当該チーム同士の成績のみによる

当該チーム同士が引き分けの場合は、抽選とする

(8) ベンチに入ることのできる人数は制限をしない。 但し引率指導者は3名とする

\*引率指導者、2名は必ずベンチに入らなければならない。

テクニカルエリアを設置しない、戦術的指示その都度ただ1人の引率指導者がその場で立って伝えことができるが、伝えた後着席しなければならない。

負傷した競技者の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は1人とする。

- (9) 本大会に参加する競技者は登録選手証（写真貼付されたこと。不携帯の競技者は当該試合への出場を認めない
- (10) 特設 PK コートについて  
トーナメント戦では使用場合があります

## 5 競技：運営について

- (1) チームベンチ
  - \* ベンチは、ピッチに向かってトーナメント表の左が左側ベンチ、右が右側ベンチを使用して下さい。リーグ戦では、表の上または番号の若い方が左側
- (2) 試合前のウォーミングアップ
  - \* 試合前及び試合と試合のインターバルにはピッチの使用はできない。
- (3) 試合中のウォーミングアップ
  - \* ベンチ後のスペースをご利用下さい
  - \* ハーフタイムのピッチは使用できません。
- (4) メンバー表の提出
  - \* 各試合30分前に選手証と共に大会本部へ提出して下さい。
  - \* メンバー表は指定用紙に記入しコート本部へ2部提出
- (5) 選手交代
  - \* タッチラインに「選手交代ゾーン」を設置する。(ハーフウェーラインを挟んで両側に3m)
- (6) ユニフォームについて
  - \* 審判部の指示に従って下さい。
  - \* 正副・2着を用意すること。(パンツ、ストッキングも含む) 背番号・胸番号のついているもの。
  - \* 上記の番号は選手固有のものとするが、緊急避難時にはこの限りではない。
- (7) メンバーチェックについて  
選手は試合開始10分前に指定集合場所でチェックをうけること
- (8) 挨拶について
  - \* 試合終了後のチームベンチへの挨拶は、今大会では行わない。なお、審判へも同様とします。

## 6 その他

- (1) キックオフ前後のセレモニーは行ないません。
- (2) 暑熱下においては前後半の中程で飲水タイムを採用いたします。  
実施はWBGTの計測、熱中症予防のための状況データで大会本部で決定し  
実施をする場合は、各セクション、チームに伝える (キックオフ30分前)
- (3) 応急処置は大会本部(救命師、看護師)が対応しますが、その後はチームが責任を持って処理すること  
各チームは救急手当てに必要なものを携帯すること(氷、氷嚢、など)  
競技者全員の保険証またはコピーをチームで携帯すること
  - \* 負傷した選手は安全な大会運営、健全な育成から、出場を控えること。
  - \* 重症者、ギブス等している選手については、確約書が必要になる。  
大会当日会場に来る指導者、保護者、選手、関係者、に会場使用の注意事項を徹底する。  
ハンドブック記載の中央大会参加に関する要件を厳守する。46、47P  
を参照にしてください。
- (4) バーナー(応援幕)は、応援席側 (大会本部へお問い合わせください)